

# 多くの人に、酪農の魅力や

## 面白さを伝えたい

### 酪農への思い

酪農は母牛が仔牛に与えるミルクを人間に分けてもらうことで成立しています。牛がゆつたりとした気持ちでミルクを出せるよう美味しい餌を与え、牛への感謝と優しい気持ちを持つて接することを心がけています。牛にとつての主食は牧草などの粗飼料です。限られた土地から効率的に牧草を収穫し、そして、稲ホールクリップサイレージを牧草と一緒に与えることで均一で良質な粗飼料を確保しています。また、牛からのサインを見逃さないことです。餌の食べ残しや、鳴き声など牛の状態を常に観察しています。

みなさんは、黒白ではなく、赤白模様のホルスタインがいることをご存知でしょうか？私の牧場で

は約7割が赤白斑ホルスタインです。30年来赤白の出やすい交配を重ね、いずれ全頭赤白にすることが夢であり私自身の楽しみでもあります。日々の大変な仕事の中で、これが、私の一つのモチベーションとなっています。

### 課題について

労働者の高齢化とともに、労働力の確保は深刻です。酪農を取り巻く情勢が厳しい中、酪農を継いでほしいと伝えたいのですが、息子が酪農をやりたいと宣言し、現在、金足農業高等学校で学んでいます。

牛に興味があり、牧場へ足を運んでいただければ、より多くの人に酪農の魅力や面白さを伝えていきたいと思っています。

### 今後について

おいしくて安全なミルクを食卓へ届けるという使命感のもと、さまざまな課題を克服しながら頑張っています。

酪農もまた、大きな転換期を迎えようとしており、世界に目を向けなければならぬ時期にきています。牧場を食育や教育ファームとして利用する仕組みや、六次産業化についても視野に入れながら、人々が気軽に訪れることができるような牧場にしたい、今後に繋げたいと思っています。

10年ほど前に北海道から2頭のロバを導入しました。ロバを飼うことが夢であった妻の願いが叶い、ロバに会える牧場になりました。また地域のイベントに参加し、ロバのいやし効果を感じていただき、牧場をより身近に感じていただければと思っています。

地域の発展に貢献できるような酪農、町内外の人が気楽に訪れることができるような牧場経営を目指します。

